

科目名	映像リテラシーB2							年度	2025
英語科目名								学期	後期
学科・学年	放送芸術科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	石田桃子		教員の実務経験			実務経験の職種			
【 科目の目的】 放送・映像業界が産業の転換期を迎える中、本当の意味で現場から求められる人材を育成すべく映像制作におけるより広く深い専門知識を学ぶと共に学生自身がより能動的に学ぶ機会を提供する事を目的として「MA・音響効果」「Adobe基礎・カラーグレーディング」などいくつかの専門科目を開講。									
【 科目の概要】 「MA・音響効果講座」「Adobe 基礎・カラーグレーディング講座」などを実施。尚、開講詳細については、年次・希望人数などの関係で変更の可能性があります。									
【 到達目標】 各講座でそれぞれの基礎を理解し撮影・制作現場にて求められる最低限の専門知識を身につける。また、それらの応用として各講座で学習した専門知識を具体的に作品・番組に反映させた企画立案を目標とする。									
【 授業の注意点】 講座によっては機材を扱う事もあるが使用の際は必ず担当講師・教員の許可を受けるもしくは指示のもとに取り扱う事。実習形式の授業も含まれる為、欠席・遅刻・途中退出については厳しく取り扱う事を理解する事また授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A MAの基礎	MAの概念を理解し、PROTOCOLSを使いこなしナレーション収録が出来る		その歴史をある程度は理解している			理解がおぼつかない			
到達目標 B 音楽、音声の役割	音の効果を理解し、音楽からノイズまでを適切に操ることができる		ある程度BGM、SEを加えることができる			BGMやSEが適切でないものになる			
到達目標 C ミキシング	トータルの作業としてミキシングとトラックダウンまでを適切に行える		ある程度ミキシングとトラックダウンまでが可能			正しくミキシングが出来ない			
【 教科書】									
【 参考資料】									
【 成績の評価方法・評価基準】 期末試験									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									
科目名	映像リテラシーB2							年度	2025

英語表記					学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	MA 基礎①			MA 基礎①	MA とは何かを理解する(MA 作業の流れ、		
					音響専門用語の理解)		
2	MA 基礎②			MA 基礎②	MA に必要な機材を理解する(マイク、		
					スピーカー、コンソール、DAW の役割)		
3	MA 基礎③			MA 基礎③	Protocols の基本操作。設定、録音、簡単な		
					編集ができるようにする		
4	MA 基礎④			MA 基礎④	ナレーション収録(マイクキング、適正レベ		
					ルの理解、ブースとのコミュニケーション)		
5	MA 基礎⑤			MA 基礎⑤	整音の意味と方法を理解し、単純な同録の		
					仕込みができるようになる		
6	MA 基礎⑥			MA 基礎⑥	スムーズなカット		
7	音響効果基礎①			音響効果基礎①	音が映像に与える効果を理解し、SE の		
					種類を覚える		
					(フォーリー、アンビエンス等)		
8	音響効果基礎②			音響効果基礎②	BGM の選曲の仕方を理解し、実際に		
					テーマに沿った選曲をする		
9	音響効果基礎③			音響効果基礎③	自分たちで効果音を収録し、実際に		
					作ってみる①(収録機材の使い方)		
10	音響効果基礎④			音響効果基礎④	自分たちで効果音を収録し、実際に		
					作ってみる②(様々な音の再現)		
11	MA 基礎⑦			MA 基礎⑦	エフェクターの効果、使用方法を覚える		
12	MA 基礎⑧			MA 基礎⑧	イコライザーを理解し		
					目的に合った音質を作る		
13	MA 基礎⑨			MA 基礎⑨	ミキシングの意味とその方法を理解し、		
					それぞれの音の適正レベルを考える		
14	MA 基礎⑩			MA 基礎⑩	実際にミキシングができるようにする		
15	MA 基礎⑪			MA 基礎⑪	完成したMIX をトラックダウンし、		
					データにして映像に当てこむまでの理解		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S: とてもよくできた、A: よくできた、B: できた、C: 少しできなかった、D: まったくできなかった

備考 等